

令和2年度上大久保中学校だより

上中だより

第11号

令和3年2月1日(月)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j.saitama-city.ed.jp>

「一人ひとりができること SDG s」

校長 堀田 明良

通勤途中に明るい赤や白の椿の花を目にするようになりました。1月の上大久保中学校では午前中は例年と同じ光景が見られますが、部活動中止が2月まで続き、放課後の校舎はとても静かです。その中で3年生の教室では試験直前の補習や面接練習が行われています。

生徒の皆さん、上大久保中学校の先生方の襟元や名札に丸いカラフルなバッジがついているのに気が付きましたか。知っている人もいますが、そのバッジはSDG s バッジと呼ばれているバッジです。SDGsとは2015年9月に国連サミットで採択された、持続可能な目標（持続可能な=Sustainable 開発=Development 目標= Goals）です。国際社会全体で、2030年までに持続可能な社会を実現しよう、そのために全世界で17のゴールと、その17のゴールを細分化した169のターゲットを、地球上の誰一人として取り残さずに達成しようというものです。SDGsのバッジに使われている17色は、17のゴールを意味しています。SDG sはテレビCMでも聞いたことがある人もいると思います。2017年にスイスのダボスで行われた経済に関する国際会議で「SDG sは12兆ドルの経済価値と3億8000万人に仕事を与える経済効果がある。」と言われたため、企業も積極的に参入するようになりました。日本では内閣総理大臣が推進本部長となり、民間企業などと連携を取りながらSDG sに取り組んでいます。さいたま市も令和元年に「SDGs 未来都市」に選定されました。これはSDGsの理念に沿った取り組みを推進しようとする都市・地域の中から、特に実現する力があると選定されるもので、現在国内60都市が選定されています。



17の目標はすべて社会・経済・環境の3分野に関わるものです。世界全体で取り組んでいることですが、一人ひとりの行動の変化が求められています。例えば、ゴールの12「つくる責任、使う責任」のターゲットに「天然資源の効率的な利用」「食品ロス減少」があります。そこで私は校内を歩いているときには廊下の電気をこまめに消すように心がけたり、給食や弁当は残さず食べるようにしたりしています。

生徒の皆さん、なぜ、世界全体でこのような取り組みを行っているかよく学んでほしいと思います。上大久保中学校の図書館にはSDG sに関わる資料もそろっています。また、自分でインターネットを使って調べてもいいでしょう。そして友達や先生方とSDG sに関わることを話題にしてみましょう。それとともに何か自分のできることを見つけ、取り組んでみてほしいと思います。でも新型コロナウイルス感染症によく気を付けて取り組んでください。